

## 2) 第2回調査(平成27年2月27日実施)

### (a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-84に示した。調査日当日には降雨が確認されなかったことから、平常時の陸域調査として実施した。

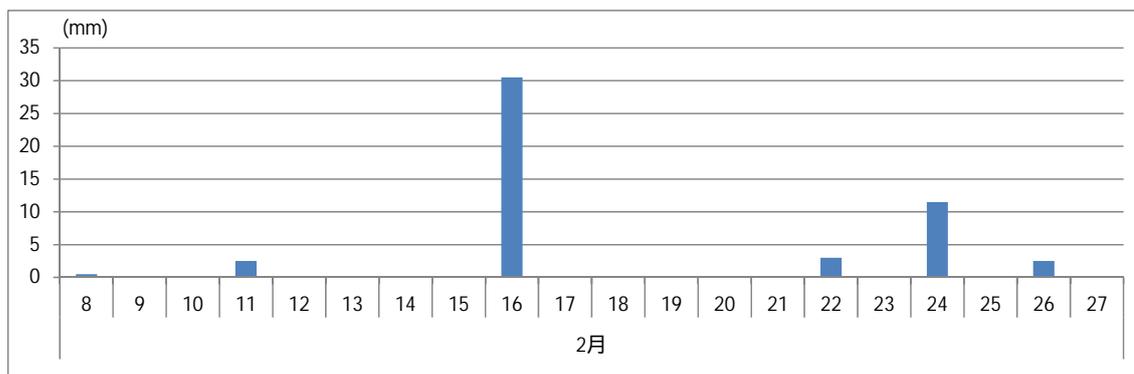


図 4.4-84 調査日前20日間の降雨状況(石垣島観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-85 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

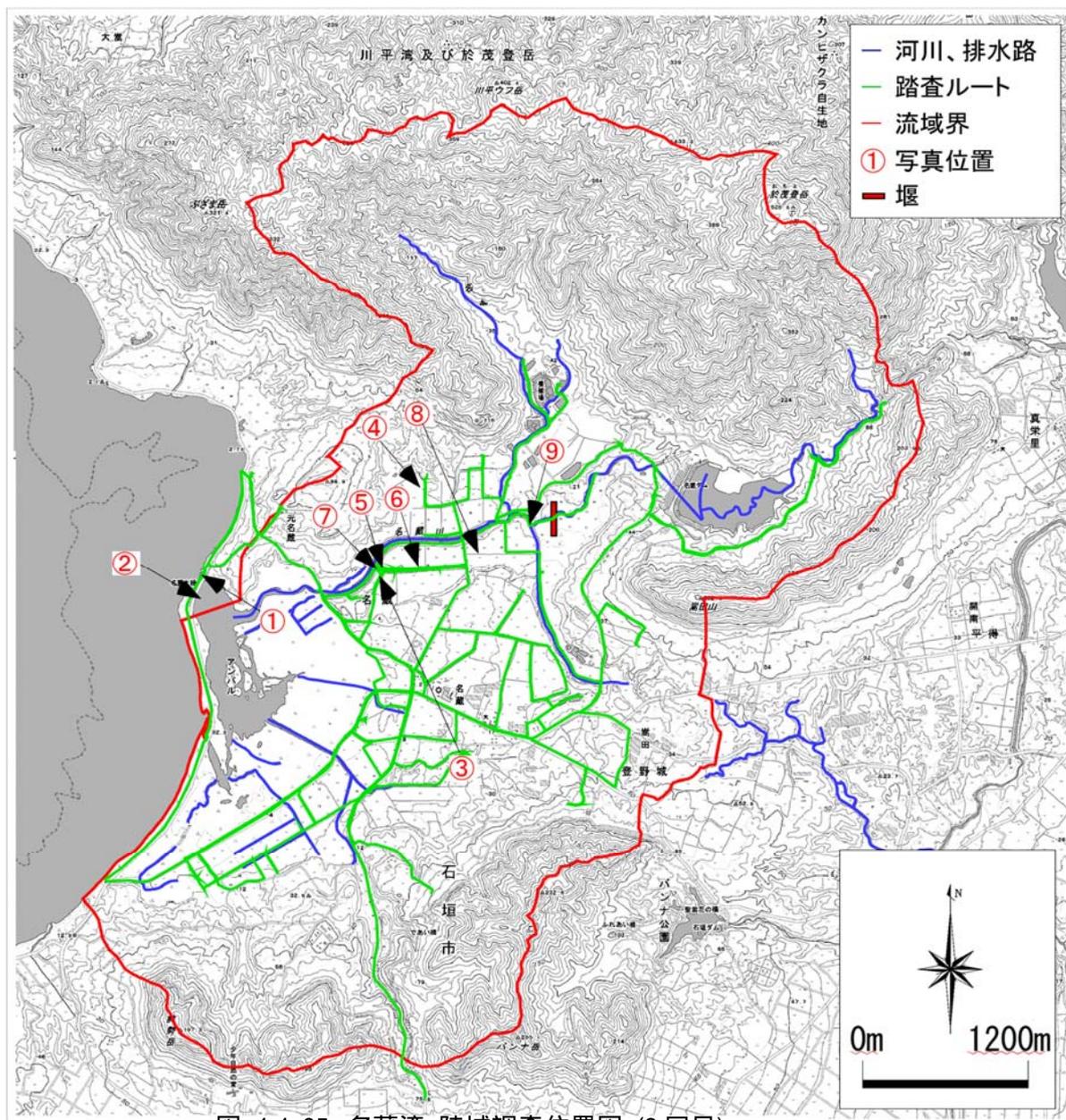


図 4.4-85 名蔵湾 陸域調査位置図 (2 回目)

- ・ 河口域および名蔵アンパルでは、濁りは確認されなかった(地点 )。



地点 河口域(濁り無し)



地点 名蔵アンパル(濁り無し)

- ・ 昨年度第2回調査時、H26年度1回目調査時に確認された地点 の造成裸地は、草本が茂り、赤土流出の可能性は減少した。



地点 造成裸地(第1回目地点)



地点 造成裸地側元沈砂池(第1回目地点)

- ・ 昨年度第2回調査時、H26年度1回目調査時に確認された地点 の造成裸地には改善が見られず、依然として赤土流出の可能性は高い状況であった。



地点 造成裸地(第1回目地点)

- ・ H26 年度 1 回目調査時に確認された、河川整備工事は終了しており、水路から道路を隔て水田が広がっていた。前日の降雨が原因か、水田から用水路へ濁水が排水されており、その用水路から河川への濁水流出が確認された。(地点 )。地点 において採水すると、濁度は 22.6(度)であった。



地点 河川整備工事完了写真



地点 河川側の水田



地点 水田からの濁水流出の状況 (第 1 回目地点 )



地点 採水状況



地点 河川への濁水流出状況

- ・ H26 年度 1 回目調査時に確認された造成地には、パイナップル畑が広がっていた(地点 )。



地点 造成工事(第1回目地点 )

- ・ 地点 では、排水路整備工事がおこなわれていた。赤土流出にかかる看板は確認されなかった。



地点 工事看板



地点 用水路工事の状況

(18) 白保海域

1) 第1回調査(平成26年11月8日実施)

(a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-86に示した。調査日当日には降雨が確認されなかったことから、平常時の陸域調査として実施した。

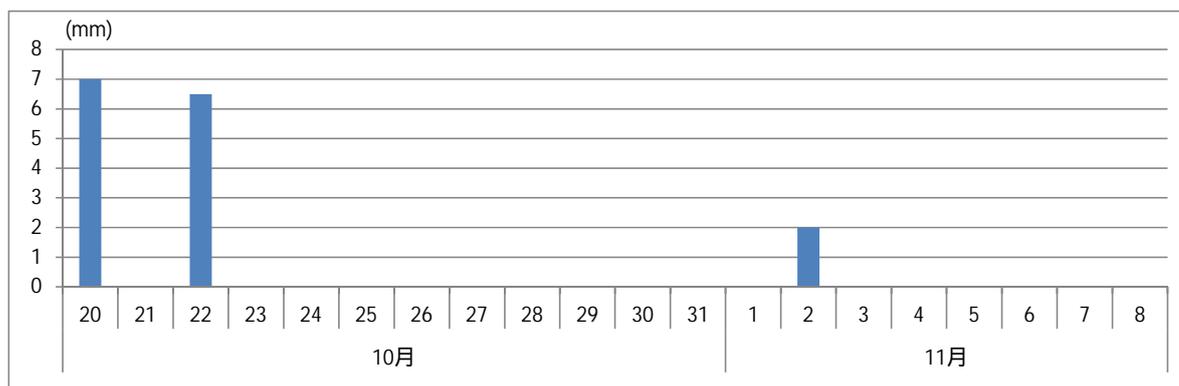


図 4.4-86 調査日前20日間の降雨状況(石垣島観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-87 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

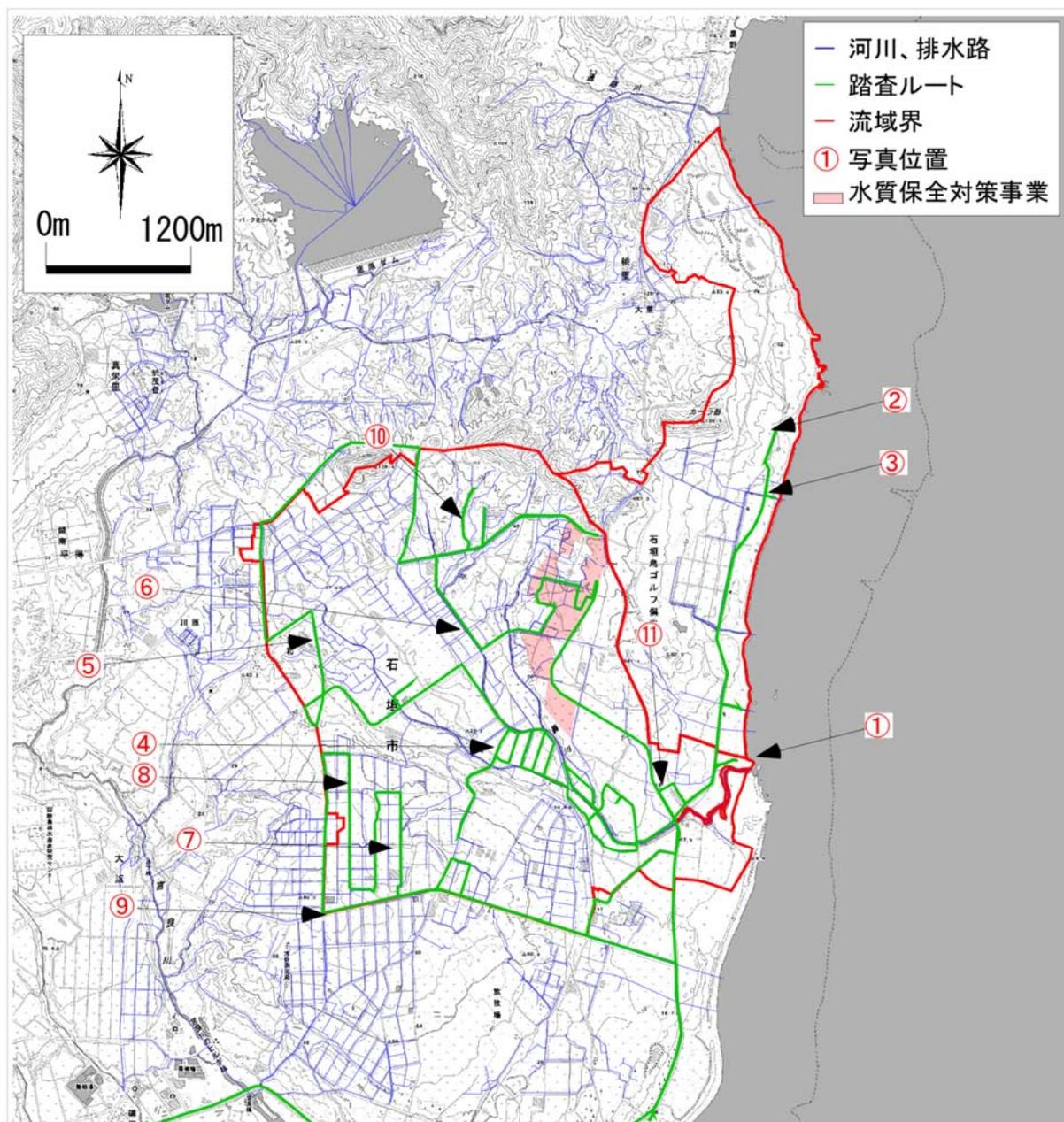


図 4.4-87 白保海域 陸域調査位置図 (1 回目)

- ・ 本川河口においては、濁りが確認されなかった(地点 )。



地点 河口域(濁り無し)



地点 河口域(濁り無し)

- ・ 海岸線近くにおいて新たに造成裸地が2箇所確認された(地点 )。大きさは共に約 30m×30m であるが、海岸側の末端は草本で囲われており、流出可能性としては低いと考えられる(地点 )。

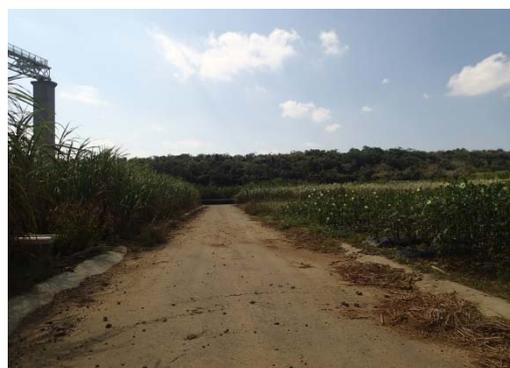


地点 造成裸地



地点 造成裸地

- ・ 流域内においては、流出源として懸念されるサトウキビ畑や裸地状態の畑も多く確認され、また道路等への流出痕も多く確認された(地点 ~ )。



地点 道路への流出痕



地点 流出源となりうる箇所



地点 道路への流出痕



地点 流出源となりうる箇所



地点 道路への流出痕



地点 流出源となりうる箇所

- ・また、グリーンベルト等赤土等流出防止対策が実施されている箇所も複数確認された(地点 )。



地点 グリーンベルトによる対策



地点 グリーンベルトによる対策

## 2) 第2回調査(平成27年2月25日実施)

### (a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-88に示した。調査時には降雨は確認されなかったため、通常の陸域調査として実施した。

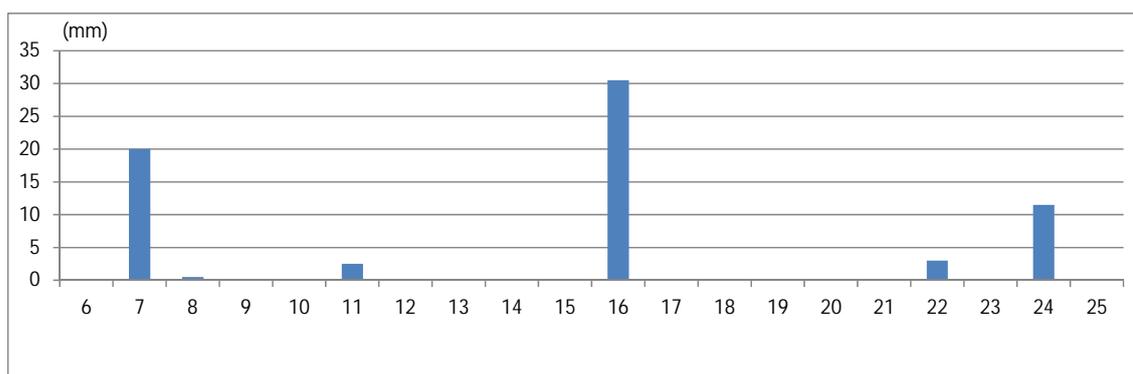


図 4.4-88 調査日前20日間の降雨状況(石垣島観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-89 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

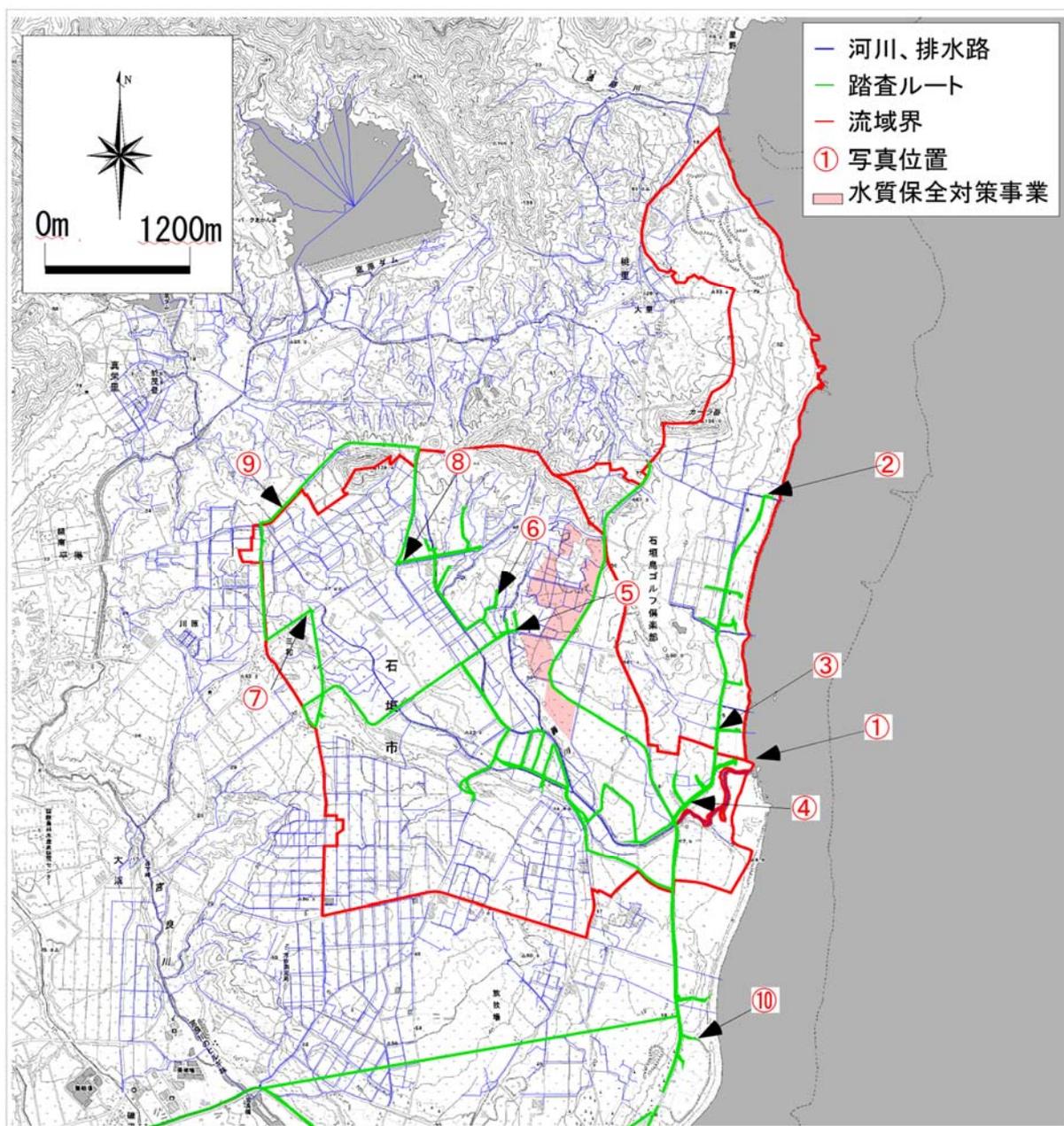


図 4.4-89 白保海域 陸域調査位置図 (2 回目)

- ・ 本川河口においては、濁りが確認されなかった(地点 )。



地点 河口域(濁り無し)

- ・ H26 年度 1 回目調査時に確認された、造成裸地はマルチングされており、第 1 回目から確認されている海岸側の末端に草本に覆われていることと合わせ、赤土流出の可能性はなくなった(地点 )。



地点 造成裸地(第1回目地点)

- ・ 本調査では、耕土流出防止対策工事が多地点で確認され(地点 )、今後その効果が期待される。



地点 工事看板



地点 排水路改良工事



地点 工事看板



地点 赤土流出防止にかかる看板



地点 工事状況



地点 造成裸地と工事看板



地点 工事看板



地点 工事現場付近の状況

- ・地点において、新規造成地が確認された。赤土防止にかかる看板は確認されなかった。規模は 50m×20m 程度であり、裸地が目立つが、道路と隣接する部分には草本が覆っており赤土流出の可能性は低い。



地点 新規造成地

- ・地点において、新規造成裸地が確認された。規模は 100m×100m程度で、赤土防止にかかる看板などは確認されなかった。また、裸地周縁からは赤土流出の可能性が高かった。



地点 新規造成裸地



地点 新規造成裸地

- ・地点は、太陽光発電設備が確認された。規模は 200m×100m 程度であった。



地点 太陽光発電設備状況



地点 太陽光パネルの状況

(19) 宮良川河口

1) 第 1 回調査(平成 26 年 11 月 5 日実施)

(a) 降雨状況

調査日前 20 日間の降雨状況を図 4.4-90 に示した。調査日当日には降雨が確認されなかったことから、平常時の陸域調査として実施した。

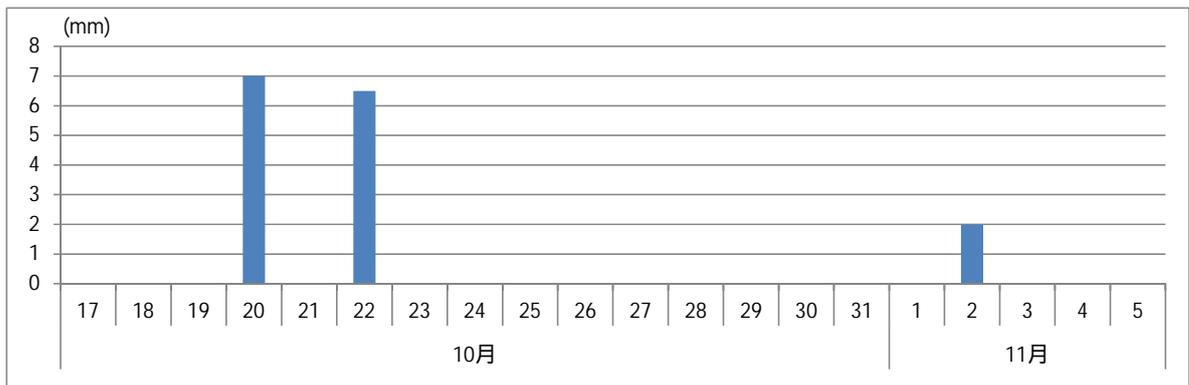


図 4.4-90 調査日前 20 日間の降雨状況(石垣島観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-91 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

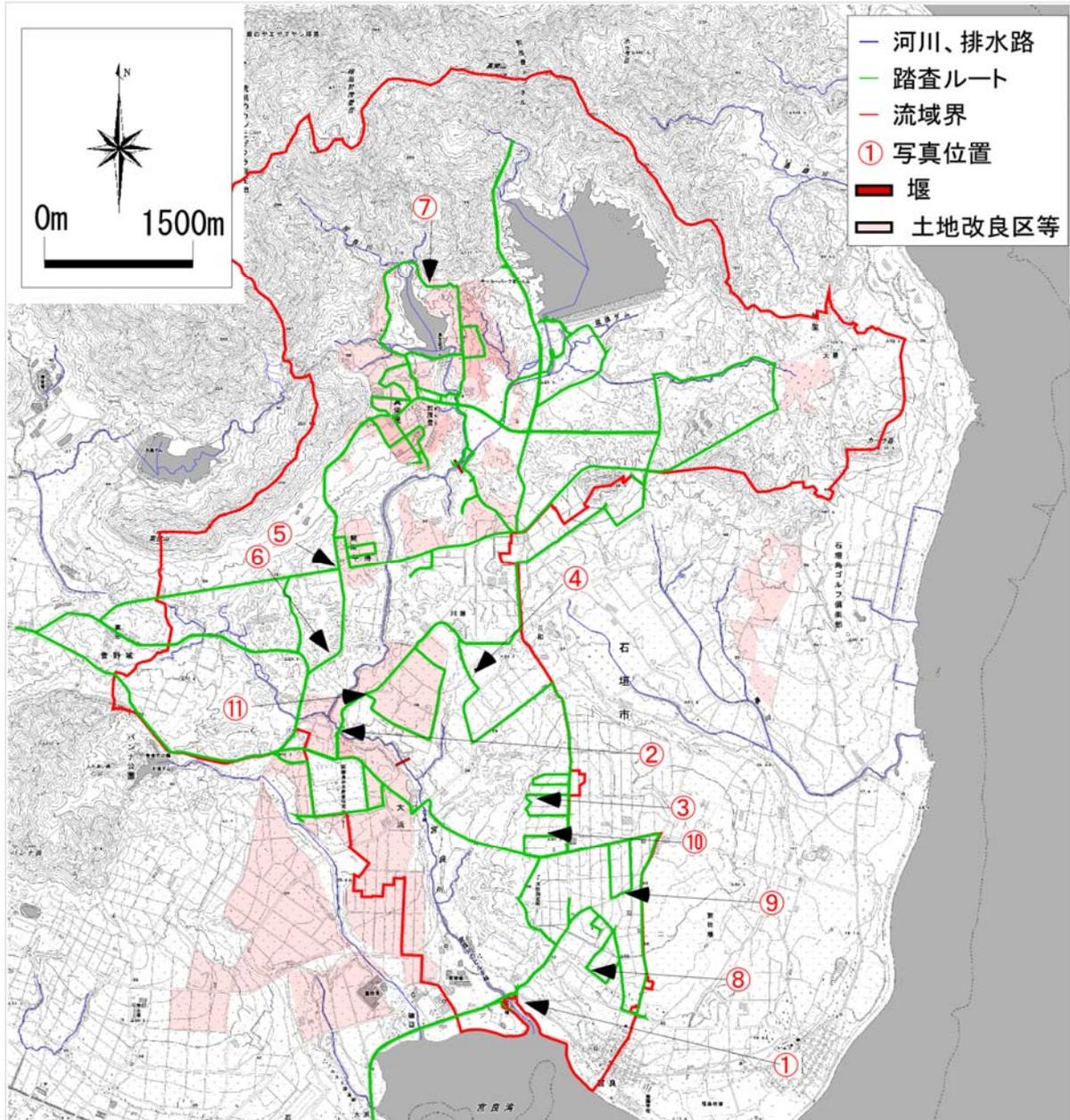


図 4.4-91 宮良川河口 陸域調査位置図 (1 回目)

- ・ 河口域において濁りは確認されなかった(地点 )。また、河川中流においても濁りは確認されなかった(地点 )。



地点 河口域(濁り無し)



地点 中流域(濁り無し)

- ・ 流域内においては、流出源として懸念されるサトウキビ畑や裸地状態の畑も多く確認され、また道路等への流出痕も多く確認された(地点 ~ )。



地点 道路への流出痕



地点 流出源となりうる箇所



地点 道路への流出痕



地点 道路への流出痕

- ・ 真栄里ダムの北斜面の広大なパイン畑は、依然として真栄里ダムへの流出源として懸念された(地点 )。



地点 真栄里ダム北斜面のパイン畑



地点 昨年度第1回調査時の状況

- ・ 流域内の農地では、畦畔、グリーンベルト等の赤土等流出防止対策を実施している箇所も複数確認された(地点 ~ )。



地点 グリーンベルトによる対策



地点 畦畔による対策



地点 グリーンベルトによる対策



地点 網による対策

## 2) 第2回調査(平成27年2月25日実施)

### (a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-92に示した。調査日当日には降雨が確認されなかったことから、平常時の陸域調査として実施した。

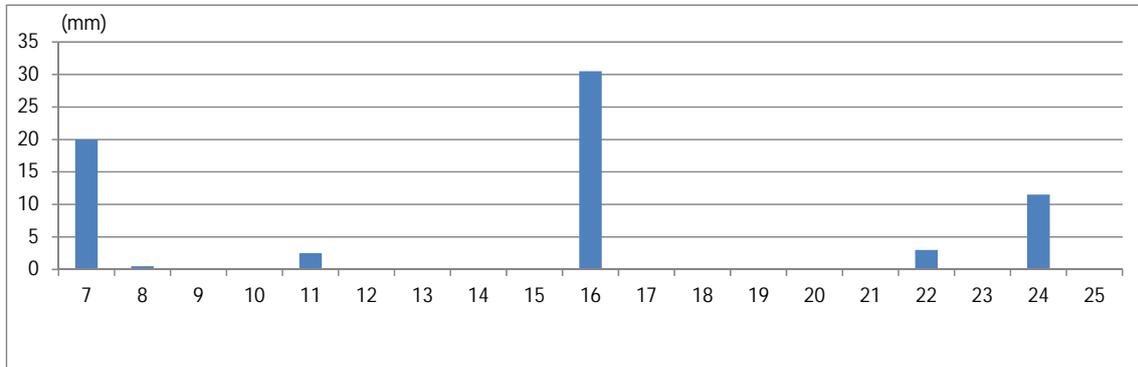


図 4.4-92 調査日前20日間の降雨状況(石垣島観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-93 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

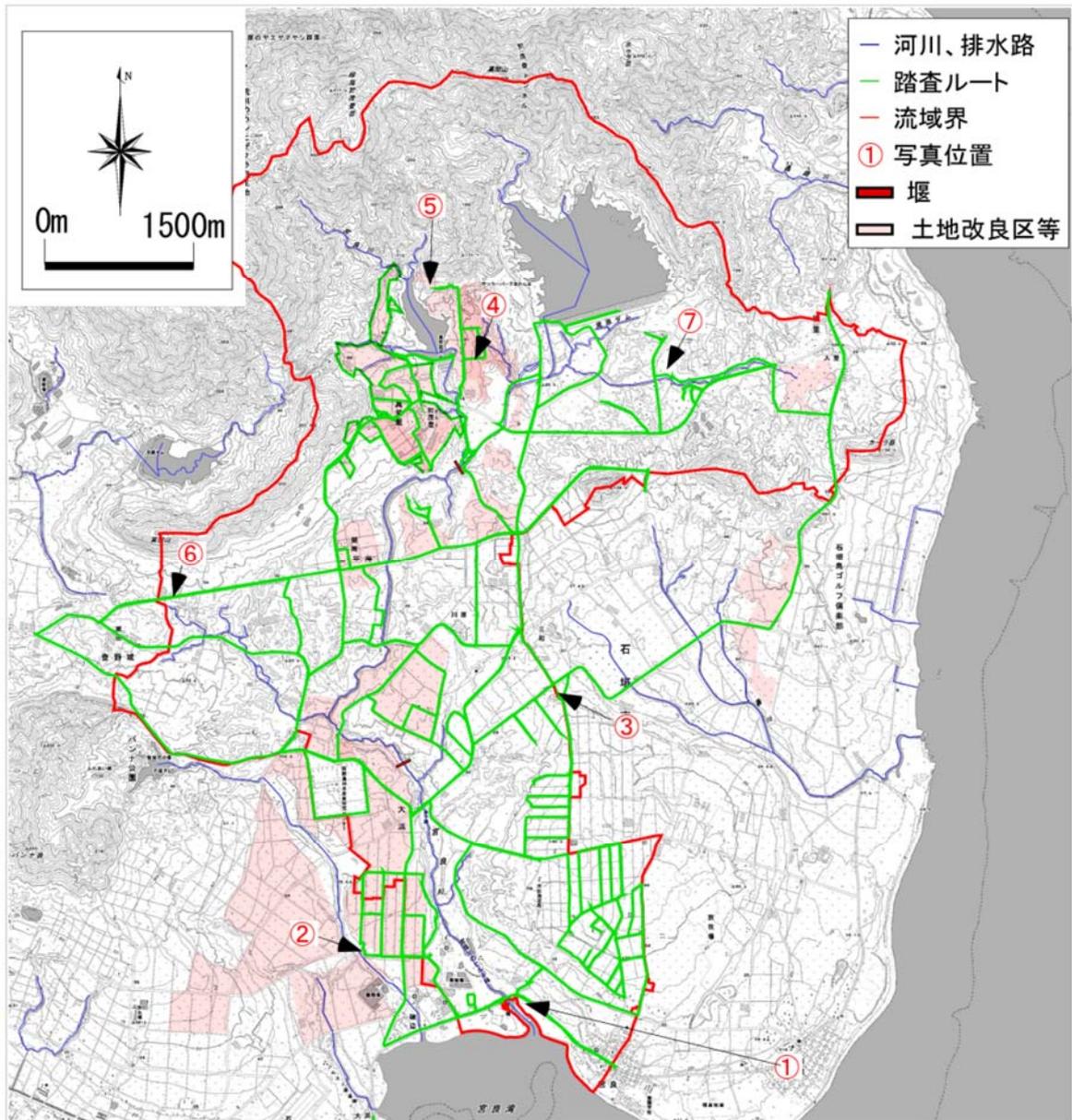


図 4.4-93 宮良川河口 陸域調査位置図 (2回目)

- ・ 河口域において濁りは確認されなかった(地点 )。



地点 河口域(濁り無し)

- ・ H26 年度第 1 回目調査時と同様に、流域内において、流出源として懸念されるサトウキビ畑や裸地状態の畑も多く確認され、また道路等への流出痕も多く確認された(地点 )。



地点 道路への流出痕



地点 流出源となりうる箇所



地点 道路への流出痕

- ・ H26 年度 1 回目調査時に赤土流出が懸念された真栄里ダムの北斜面の広大なパイン畑は、依然として真栄里ダムへの流出源として懸念された(地点)。



地点 真栄里ダム北斜面のパイン畑(第1回目地点)

- ・ 地点 では、広域探査発掘加速化事業による調査が行われているのが確認された。規模は、100m×100m 程度で赤土流出にかかる看板は掲示されていた。



地点 広域探査加速化事業における調査状況



地点 看板

- ・ 地点 では、水田脇の排水路に濁水が流れているのが確認され、採水すると、濁度は 803.0(度)であった。



地点 水田脇の排水路



地点 排水路に流れる濁水

(20) 野崎川河口

1) 第 1 回調査(平成 26 年 7 月 23 日実施)

(a) 降雨状況

調査日前 20 日間の降雨状況を図 4.4-94 に示した。調査日当日には 2.0mm の雨しか降っていないことから、平常時の陸域調査として実施した。

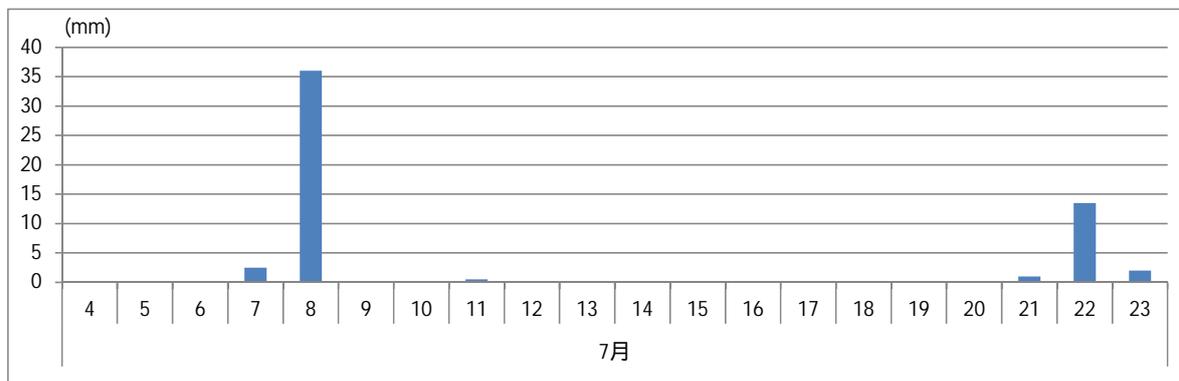


図 4.4-94 調査日前 20 日間の降雨状況(西表観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-95 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

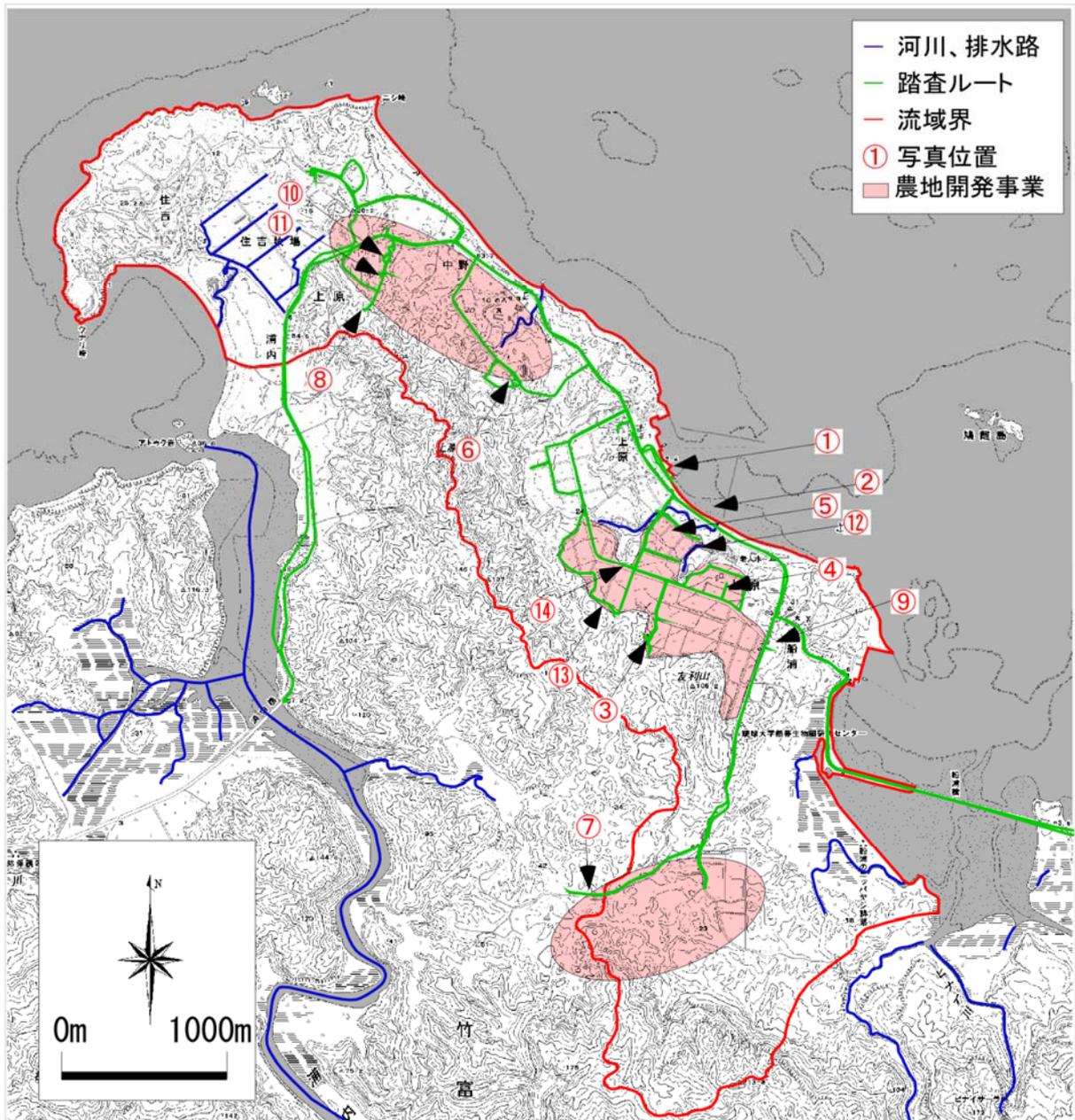


図 4.4-95 野崎川河口 陸域調査位置図 (1 回目)

- ・ 河口域においては、濁りは確認されなかった(地点 )。



地点 河口域(濁り無し)

- ・ 昨年度確認された河口近くの船揚場工事は、海域部分においては防止膜があげられていたが、工事としては継続していた(地点 )。



地点 今年度の状況(工事終了)



地点 昨年度の状況

- ・ 昨年度確認した、各種流出源として懸念される箇所また、流出痕のある箇所について今回の状況を示した(地点 ~ )。地点 では縁に草本が生え、道路への流出可能性が減少していたが、殆どの地点では昨年度と同様流出可能性が懸念される状況であった。



地点 流出懸念箇所



地点 昨年度第2回調査時



地点 流出懸念箇所(排水路内は改善)



地点 昨年度第2回調査時



地点 流出懸念箇所(改善)



地点 昨年度第2回調査時



地点 流出懸念箇所(変化なし)



地点 昨年度第2回調査時



地点 流出懸念箇所(変化なし)



地点 昨年度第2回調査時



地点 流出懸念箇所(変化なし)



地点 昨年度第2回調査時

- ・昨年度第2回調査時に確認された造成裸地は、今回、その縁には草本が覆っており、赤土等流出が懸念される状況では無くなっていた(地点 )。



地点 昨年度確認造成裸地(改善)



地点 昨年度第2回調査時

- ・昨年度第2回調査時に確認されたもう一つの造成裸地(約50m×20m)では、今回重機は確認されなかったが、昨年度同様裸地が広がっており、また、末端の斜面に土砂が押し込まれており、引き続き流出が懸念された(地点 )。



地点 造成裸地



地点 造成裸地



地点 昨年度第2回調査時



地点 昨年度第2回調査時

- ・また、地点 の近傍に新たな造成裸地が確認され、面積は約 26m×20m であった(地点 )。末端は斜面になっており、赤土等流出が懸念された。



地点 新規確認造成裸地



地点 末端の状況

- ・昨年度第2回調査時に確認された、営農飲雑用水施設設置工事はすでに終了しており、また草本が茂っており、周辺への土砂等の流出状況は改善していた(地点 )。



地点 今回の状況(改善)



地点 昨年度第2回調査時

- ・ また、新たにグリーンベルトを設置した箇所が確認された(地点 )。



地点 ゲットウによるグリーンベルト



地点 ドラセナ属によるグリーンベルト